memo

相談・緊急ダイヤル
暮らしのホットライン

女性のための相談
■かながわ女性センター(悩み一般)
0466-27-6008
■こころとからだの健康
0466-27-6000
■セクシュアルハラスメント
0466-28-2367

女性のための労働相談
■マザーズハローワーク横浜(第1・2・3・5金曜)
045-320-0335

県配偶者暴力相談
配偶者暴力相談支援センター
■かながわ県民センター窓口
045-313-0745・0807
■かながわ女性センター窓口
0466-27-9799

子どもや若者がかかえる様々な悩み
■かながわ子ども・若者総合相談センター
(青少年センター)
045-242-8201

生活再建支援相談
(借金返済や家計管理の相談)
■かながわ中央消費生活センター
(生活再建支援相談)
045-312-1881

児童相談所(24時間、全国共通ダイヤル)
0570-064-000
(お近くの相談所につながります)

かながわ小児救急ダイヤル
#8000 (18:00~24:00)

子ども・家庭110番
0466-84-7000
(9:00~20:00)

かながわ子ども虐待ナイトライン
0466-83-5500
(20:00~9:00)

いじめ
■総合教育センター(いじめ110番)
0466-81-8111

労働相談
■かながわ労働センター
045-662-6110
※かながわ労働センターでは「働く人のメンタルヘルス相談」も第1~4火曜に実施【予約制・面談のみ電話/045-633-6110(代)】

消費者ホットライン(国民生活センター)
0570-064-370

ボランティア
■かながわ県民活動サポートセンター
045-312-1121

かながわ食の安全・安心相談ダイヤル
045-210-4685
(月~金 8:30~16:30)

認知症疾患医療センター
■東海大学医学部付属病院内 総合相談室
0463-93-1121
(月~金 9:00~15:00)

自由民主党神奈川県支部連合会
〒231-0021 横浜市中区日本大通18 KRCビル4F
Tel.045(641)8723 Fax.045(661)2036
www.kanagawa-jimin.jp

かながわ自民党政策集

このパンフレットは、政党の自由な政治活動であって、選挙期間中でも自由に配布できます。

「日本を取り戻す。」そして、未来へ

今だけではなく
未来のために、
神奈川だけでなく
日本のために。

かながわ自民党

今だけではなく未来のために、神奈川だけでなく日本のために。

自民党では、「日本を取り戻す。」ために、政策集「Jファイル」を策定し、国民との「約束」といたしました。私たち、「かながわ自民党」では、この政策集を踏まえ、神奈川の未来を築くために、新たに６項目の政策を掲げ、県民の皆さまとともに、神奈川の新しい時代を創っていきます。

政策の基本的理念

日 本らしい日本の姿を示し、世界に貢献できる新憲法の制定を目指す

日 本の主権は自らの努力により護る。国際社会の現実に則した責務を果たすとともに、一国平和主義的観念論を排す

自 助自立する個人を尊重し、その条件を整えるとともに、共助・公助する仕組を充実する

自 律と秩序ある市場経済を確立する

地 域社会と家族の絆・温かさを再生する

政 府は全ての人に公正な政策や条件づくりに努める

将 来の納税者の汗の結晶の使用選択権を奪わぬよう、財政の効率化と税制改正により財政を再建する

①「いのち」と「健康」を守り、成長を加速 P4-5

②再生可能エネルギーの推進 P6-7

③女性が輝くために P8-9

④「今、行きたい。」神奈川に P10-11

⑤大規模災害を迎え撃つ、災害に強いまちづくり P12-13

⑥人とモノの流れが変わる新交通ネットワークの整備 P14-16

❶「いのち」と「健 康」を 守り、成長を加速

先進医療などへの取組み

先進医療の促進

革新的医薬品・医療機器の研究開発拠点としての「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」、さらには生活支援ロボットの研究開発拠点としての「さがみロボット産業特区」の促進を図り、県民の命を守ります。

新たな健康関連産業を

神奈川に、世界最先端の研究機関・企業などの集積を促進し、新たな健康関連産業を生み出すとともに、国際競争力を高め、県経済の活性化と雇用の拡大を目指します。

医療体制の強化

医療人材の確保

産科・産婦人科・小児科の医師不足の解消に取組みます。また、看護職員の充足率は全国ワーストワンであるため、人材の養成・確保・定着を進め、全国ナンバーワンを目指します。

保険制度の充実

先進医療に位置付けられている「重粒子線によるがん治療」に対する保険診療の適用化、国民皆保険制度の堅持など、県民が安心して受診できる医療制度の構築を目指します。

救急医療体制の強化

急増する救急患者対策には、救急医療体制の充実が不可欠です。身近で安心できる医療を確保するため、高度・専門的・特殊な医療を担う救命救急センター及び周産期・小児医療施設などの整備を進めます。

成人病対策

成人病対策においては、早期発見、早期治療が必要不可欠であることから、県民の健康診断受診率を高め、予防啓発の強化に努めます。

がんが県民の疾病による死亡の最大原因になっているため、総合的かつ計画的ながん対策に取組みます。

がん検診受診率と目標

	H22年の受診率	H29年の目標
胃　が　ん	31.7%	40%以上
大腸がん	24.1%	40%以上
肺　が　ん	23.3%	40%以上
乳がん（女性）	38.9%	50%以上
子宮がん（女性）	37.9%	50%以上

❷ 再生可能エネルギー の推進

新たなルールの制定

再 生可能エネルギーの導入等を促進する新たなルールをつくります

写真は県立高校(県立横浜栄高等学校)の太陽光発電設備。県内の公共施設、小・中・高校などへの再生可能エネルギーの導入を促進させていくことも行っていきます。

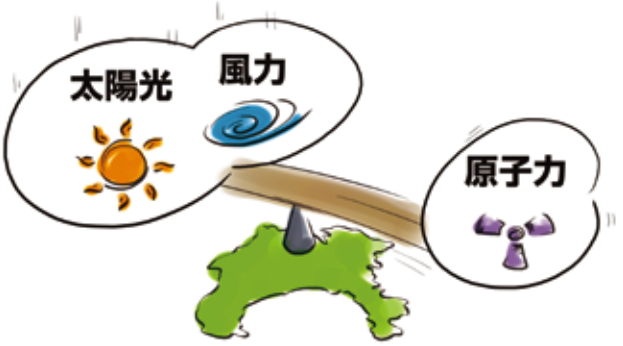
もっとみんなに身近なエネルギーを

再 生可能エネルギーの計画的な導入を図ります

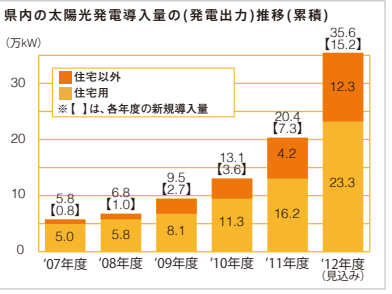
写真は約3.2ha面積、1,896kW(発電電力量　約188万kWh／年)を発電できる「愛川ソーラーパーク“さんてらすTOBISHIMA”」。こうしたメガソーラー(大規模太陽光発電設備)の設置を計画的に導入していきます。

※再生可能エネルギーとは

太陽光、風力その他の再生可能エネルギー源(永続的に利用することができると認められるエネルギー源をいう。)を利用したエネルギーをいう。



エネルギーは、経済及び国民生活を根幹から支えるものであり、その安定確保は不可欠です。しかし、東日本大震災を伴う原子力発電所事故が発生し、社会に深刻な影響をもたらすという切実な危機を経験した私たちは、原子力に過度に依存せず、将来にわたり安全で安心なエネルギーを安定的に確保するために、太陽光、風力をはじめ地球にやさしい再生可能エネルギーを積極的に導入し、燃料電池等の高度利用技術の研究開発を推進します。



神奈川県産業労働局地域エネルギー課調べ

③ 女性が輝くために

女性の社会進出

「神 奈川ウーマノミクス」を推進します

※ウーマノミクス

「ウーマン」+「エコノミクス」を合わせた造語。女性の労働力を活用することで、少子高齢化の圧力を軽減し、日本経済の潜在成長力を押し上げる効果があるというもの。

女性起業家の支援

女性の潜在能力を発揮する場を創出するため、女性の起業を支援します。2017年までに、女性の起業数を2倍に！

女性役員・管理職の登用

「2020年30%」に向け、企業・組織における女性役員・管理職の登用割合の平均伸び率を5倍に加速します。

幸せな出産　幸せな子育て

妊娠適齢期を義務教育レベルで教育します

適切な時に適切に行う、効果的な不妊治療を支援します

全ての幼い子どもたちに、幼児教育の無償化を

職場復帰をスムーズに

育児に積極的な企業へのインセンティブ

出産に左右されない安定した雇用(育児休暇の充実)や、イクメン(夫の育児参加)しやすい職場環境を提供している企業を優遇する支援を行います。

④「今、行きたい。」神奈 川に

日本を代表する魅力を伝える

発信します。多彩な観光魅力を！

神奈川が持つ豊かな自然、鎌倉などの歴史・文化、箱根・湯河原など日本を代表する温泉、様々な産業、地域の名産品など多彩な観光魅力をあらゆる情報ツールを駆使して、国内外に発信します。

「日帰り」から「宿泊滞在型」へ

神奈川への観光客は、日帰り客が全体の80％を占めています。より多くの観光消費が期待される宿泊を伴う滞在型観光・周遊型観光を促進します。

観光資源を最大限に活用

外国人観光客のさらなる誘客

国際会議や見本市、海外からの教育旅行の誘致に積極的に取組みます。

観光客のニーズの多様化への取組み

エコツーリズムやグリーン・ツーリズム、産業観光などの体験・学習型の観光、また、アニメや映画、スポーツ、医療など新たな観光資源を最大限に生かした取組みを一層進めます。

⑤ 大規模災害を迎え撃つ、災害に強いまちづくり

安全かつ迅速な避難を行うために

津 波対策の強化と減災システムの確立

津波による被害を海岸保全施設だけで防ぐことは、現実的に困難であるため、減災の視点で、安全な避難路や避難場所の確保、避難ビル・避難タワーの整備など、津波の規模に応じた対策を強化します。

2012年7月に完成した県内初となる津波避難タワー（藤沢市／県立湘南海岸公園西側に設置）は、海水浴客らが津波から逃れるための施設

火 山災害対策の明確な位置づけ

火山災害については、その活動状況から、災害発生の危険性をある程度は予測することが可能であるため、火山情報の伝達、迅速な避難誘導等の整備をより充実します。

県民一人ひとりが助け合う神奈川へ

広 域的な原子力災害への対応と石油コンビナート対策の強化

神奈川に所在する原子力施設での事故への備えや対応として、モニタリングポストによる広域的な放射線量監視を通じた異常の早期発見と、モニタリングに関する情報の県民への提供体制をより充実します。また、川崎市、横浜市の沿岸部に広がる石油コンビナートは、人口密集地域に隣接し、高速道路、空港にも近いことから、津波浸水対策、耐震対策、液状化対策等をより充実し、県民が安心して暮らせる神奈川を目指します。

「自 助」・「共助」による取組みの促進

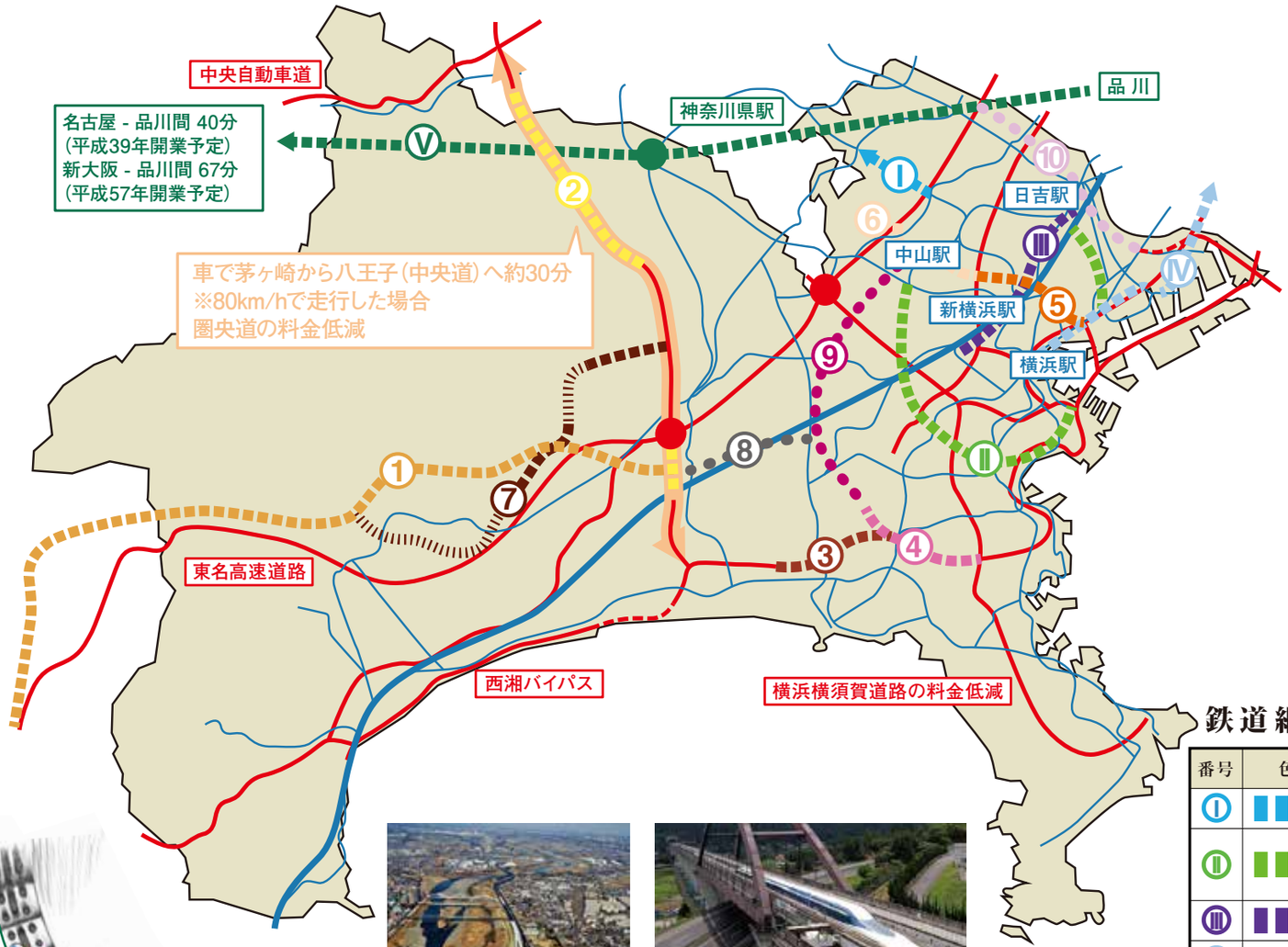
「公助」による応急活動だけでは、災害時の県民の「いのち」を確実に守ることは困難であるため、県民一人ひとりの自覚に根ざした「自助」、家族・地域・企業・ボランティア団体などが連携して行う「共助」のルールをつくります。

帰 宅困難者対策の強化

⑥ 人とモノの流れが変 わる新交通ネットワークの整備

首都圏機能の一翼を担う神奈川は、首都圏の各都市と県内各地域の連携を図る交通ネットワークの整備が急務です。

私たちは、暮らしや経済活動を支える利便性の高い道路･鉄道･港に重点的に投資し、産業や物流、観光などの活性化を目指しま す。



「さがみ縦貫道路」と「リニアモーター」が神奈川の新交通ネットワークを支える

高速道路網

番号	色 / 線種	路線名
①	事業中路線	新東名高速道路 平成32年度全線開通目標
②	事業中路線	圏央道(さがみ縦貫道路) 平成26年度全線開通目標
③	事業中路線	圏央道(横浜湘南道路)
④	事業中路線	圏央道(高速横浜環状南線)
⑤	事業中路線	高速横浜環状北線 平成28年度開通目標
⑥	事業中路線	高速横浜環状北西線 平成33年度開通目標
⑦	事業中路線 未事業化路線	厚木秦野道路
⑧	構想路線	新東名高速道路 さがみ縦貫道路以東区間
⑨	構想路線	横浜環状道路西側区間
⑩	構想路線	川崎縦貫道路(Ⅱ期区間)

※既存路線は ━━ で表記、その他事業中路線は ┅┅ で表記

鉄道網

番号	色 / 線種	路線名	整備内容	計画区間
Ⅰ	計画路線	横浜市高速鉄道3号線	新線	あざみ野-新百合ヶ丘
Ⅱ	計画路線	横浜環状鉄道	新線	鶴見-日吉-中山-二俣川- 東戸塚-上大岡-根岸-元町 ※H.20.3日吉-中山(グリーンライン)開業
Ⅲ	計画路線	神奈川東部方面線	新線	西谷-羽沢-新横浜-日吉
Ⅳ	計画路線	東海道貨物支線	旅客線化	桜木町-東京都方面
Ⅴ	計画路線	リニア中央新幹線・新駅	新線	甲府市方面-東京都方面

※既存路線は ━━ で表記